

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## ニューヨークへの派遣経験を生かして

和歌山県企画部企画政策局企画総務課 IR 推進室 副主査 丸野 綾紗

「ニューヨーク」という言葉の強さに圧倒され、期待より不安が勝った5年前のことは今でも鮮明に記憶に残っています。しかし、県庁職員としても自分の人生としても、クレアでの勤務は、間違いなく新たなステージに進むきっかけとなりました。

ニューヨーク事務所では、主に JET プログラム事業担当として、同プログラム参加者や OB・OG と働く機会に恵まれました。業務を通じて、彼らから英語でコミュニケーションをとる楽しさや異なる文化を学ぶことができたことで、帰国後の業務では、さまざまな角度から物事を捉えて考えることや、積極的に言葉で表現して相手に伝えるといった業務に向かう姿勢の形成を図ることができました。また、現地で出会った人々や共に働いた他の職員とは今でも公私ともに交流があり、異なる地で働く彼らとの交流は、今の仕事のモチベーションにつながることも多いです。

帰国後は、観光交流課で2年間インバウンド誘致業務に従事していました。主に欧米豪マーケットを担当し、クレアで身につけた語学力を活用し、海外でのセールス活動、メディアやエージェントを対象とした県内の下見・取材支援やアフターフォローなどのシームレスなサポートを行うという、いわゆる和歌山県のセールスマンのような仕事を行っていました。他にも本県では、CNN や BBC といった世界的メディアとの共同キャンペーンなども行い、積極的に海外からの誘客を進めており、2018年の本県への外国人宿泊者数は、世界遺産エリアである高野町、田辺市、新宮市が過去最高を記録し47万9,163人泊となっています。国内外事業者や海外の方の反応をダイレクトに知ることができるこの仕事は、体力的に大変でしたがやりがいを感じるものでした。

そして今年4月からは IR 推進室に配属となり、和歌山県への IR (統合型リゾート) 誘致に取り組んでいます。

日本版 IR は国際競争力のある滞在型観光の実現を核とするものであるため、クレアと観光部局で積んだ経験を生かし、引き続き英語を活用しながら和歌山県のみならず日本の観光振興を目指す業務に従事しています。

最後に、慣れない東京生活やニューヨーク勤務中は暗中模索状態で、当然失敗も後悔もたくさんありましたが、飲み会のネタから業務に生かすことができる知識や経験まで、とにかく無駄になったものは今のところ1つありません。この気持ちに共感し、共に日本の地方を盛り上げてくれる仲間が今後も増えてくれることを期待します。



帰国後も公私共に交流のある JET プログラム経験者たち  
(写真はバンクーバーの旅行博覧会)

### プロフィール・ほか

- 所属 和歌山県企画部企画政策局企画総務課 IR 推進室
- 業務内容 和歌山県への IR 誘致に係る業務
- クレア時代から現職までの所属  
2014年～2015年 クレア東京本部企画調査課  
2015年～2017年 クレアニューヨーク事務所  
2017年～2019年 和歌山県商工観光労働部観光局  
観光交流課